

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 誠心会
児童自立援助ホーム こたにがわ学園
代表者・役職名 氏名 理事長 小谷川 元一

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

環境整備事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成 16 年 7 月に子育て教育支援を行う NPO 法人を設立し、同年 9 月にこたにがわ学園を開設しました。
平成 26 年 5 月に転院増のため、こたにがわ学園園舎を新築し松戸市小金原に移転しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

園舎2階にはエアコンがなく、夏になると非常に室温が上がります。5月に2名の入居予定があり2階に入居することになるので、エアコンを設置し、子どもたちが自立に向けて、生活していけるように安心して暮らしやすい環境を整える必要がある。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

エアコン購入
専用回路電気工事
設置工事

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

エアコンを設置する事により子ども達が気持ちよく自立の準備や就労できるよう、暮らしやすい生活環境を整えられた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

繁忙期である事や、複雑な工事だったため、予定より設置が遅れてしまった。
この度はお力添えをいただきまして、大変感謝をしております。今後は、働きながら専門学校に通う子どもの学費負担を軽減する助成等があると大変うれしく思います。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

